



東北大学

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

佐藤源之 教授

最終講義

東北アジア研究に おける工学

— 子持村遺跡からウクライナ地雷への道程 —

東

北アジア研究センターにおいて、電波を利用した計測技術、とりわけレーダーを用いた環境計測、遺跡調査、地雷検知などの研究を進めてきた。こうしたテーマに共通するのは「人に役立つ研究」である。工学では科学をいかに「人のために活かすか」をめざすが、他方、学問は自分の興味であり、人に役立つようなものは学問では無いとも言われた。使い古された「文理融合」は工学においては、あたりまえの事である。

最終講義では多岐にわたる学問分野の研究者が入り交じる東北アジア研究センターで感じてきたこと、地中レーダーに関する40年間の技術開発と遺跡調査から地雷検知などの事例への応用を振り返り、研究者が今何をすべきか考えていることとお話したい。

講師◎ 佐藤源之 教授

(東北大学東北アジア研究センター資源環境科学研究分野)

Profile

さとう・もとゆき

1980年東北大学大学院工学研究科修了。
1997年より東北大学東北アジア研究センター資源環境科学研究分野教授。電波応用工学を専門とし、アンテナ過渡応答現象の解明、レーダー装置の開発に携わる一方、レーダーを利用した遺跡調査、地雷検知、地滑りモニタリングなど実践的な研究を行ってきた。

2023

入場無料・要事前申込

2.18 土

14:30-16:00 [14:00 開場]

東北大学川内北キャンパス
講義棟C棟 C200教室

(宮城県仙台市青葉区川内41)

《アクセス》仙台市地下鉄東西線「川内駅」下車、南1・2出口より徒歩2分
※会場には駐車場の用意がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



申込はこちら



お願い

- 入場の際はマスクを着用し手指の消毒をお願いします。感染防止のためゴミの持ち帰りにご協力ください。
- 下記に該当する場合は来場をお控えください。
平熱よりも1度以上の熱がある場合 | 咳、咽頭痛、鼻汁などの風邪様症状、味覚・嗅覚障害、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ等の体調不良がある場合 | 新型コロナウイルス感染症と診断され、国等が定める療養期間を経過していない場合 | 新型コロナウイルス感染症と診断された者と濃厚接触があり、国等が定める自宅等の待機期間を経過していない場合 | 国が定める入国後の自宅待機期間を経過していない場合 | 国が定める入国後の自宅待機期間を経過していない者と濃厚接触がある場合



問合せ先 東北大学 東北アジア研究センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41 TEL: 022-795-6009
Eメール: colab.cneas@grp.tohoku.ac.jp